

# あびこの風

## 我孫子の教育は大丈夫？

### 高校入試用調査書の記入ミス等が発覚



#### ケース1 白山中学校での調査書の記入ミス

##### ➤発覚の経緯

高校に合格した生徒の保護者が、高校に入試関係書類の開示請求を行い、中学校から送った調査書の評定に不審な点があると中学校に連絡した。その後、職員が確認したところ、1年次の評定に誤りがあることが判明。

##### ➤事故の状況

- ・ 記入ミスの該当生徒：114名（141件） ※評定が下がった生徒数
- ・ 95名のうち、16名が後期公立等の第1希望に不合格。その内、1名は私立のみの受験で、第1希望校は不合格で第2希望校に合格（15名が再判定希望）

##### ➤事故の原因

- ・ 2年次の要録作業中に、データをコピー貼り付けで移動した際、教科を取り違えて貼り付けてしまった。
- ・ 点検については、2年次には2年生の要録掲載の内容のみを点検し、1年次の分は点検しなかった。
- ・ 1年次の要録は、紙ベースで作成済みだったが、2年次の要録作成時は1、2年の両方の成績分を作成したため、1年次の分は破棄した。



##### ➤事故への対応

千葉県教育委員会に再判定を強く要望した結果、県教委は本来の調査書の評定で再判定し、合格点に達する生徒がいた場合は追加合格とするとの対応策をとったが白山中学校での合格者なし。

#### ケース2 久寺家中学校、白山中学校での入試用調査書への資格検定（英検、漢字検定、数学検定等）の記入漏れ・誤記入

##### ➤発覚の経緯

県立高校の受験で不合格となった生徒の保護者が、久寺家中学校から提出された入試関係文書の開示請求を行ったところ、資格検定等の記入欄に「漢字検定」が記入されていないことを発見し、

学校に連絡。その後、職員が調査したところ記入漏れ・誤記入が発覚。

➤ 事故の状況

- ・ 久寺家中学校の該当者 1名（県立高校を受験し不合格、再判定希望）
- ・ 白山中学校の該当者 3名（県立高校を受験し不合格、内2名再判定希望）

※その後、合格者5名にも資格検定の記入漏れが判明

➤ 事故の原因

生徒から口頭で合格を知らされていたため、記入漏れや誤記入が発生した。

➤ 事故への対応

再度、千葉県教育委員会に再判定を要望し、県教委は本来の調査書の評定で再判定したが合格者なし。



### ケース3 久寺家中中学校での調査書の記入ミス

➤ 発覚の経緯

調査書の元データの開示を行ったところ、保護者から不審な点があると連絡があり、確認したところ成績データ一覧表から指導要録を作成する段階で誤りがあることが判明。

➤ 事故の状況

記入ミスの該当者：4名 ※1名が再判定を希望

➤ 事故の原因

指導要録を作成するための成績データの一覧表から指導要録を作成する段階で転記ミス。

➤ 事故への対応

また、また、千葉県教育委員会に再判定を要望し、県教委は本来の調査書の評定で再判定したが合格者なし。



高校入試は、子どもたちにとって、将来を左右する重要な事柄のひとつであります。その入試に大きな影響を与える厳正であるべき調査書に次々にミスが発見された今回の事態は、前代未聞の出来事であり、調査書に対する信頼性を著しく失墜させてしまいました。

また、最近の度重なる教育現場での不祥事に対して、市民からは、「我孫子の教育は、一体どうなっているのか？」との心配の声が上がっています。市民の信頼を回復するため、二度とこのような事件を起こすことの無いよう我孫子市議会として以下のような決議を採択しました。

#### 市内中学校の入試用調査書の記載ミスに対する徹底調査及び再発防止を求める決議

1. 調査書の記載ミスがなぜ起こったのか徹底的に調査すること
2. 二度と起こらないようにするため再発防止策を講じること

# 手賀沼終末処理場の高濃度放射性物質を含む焼却灰の一時保管問題、その後……

## 3市からの焼却灰の搬入状況

	H24. 12	H25. 1	H25. 2	H25. 3
松戸市	搬入	搬入	なし	なし
柏市	搬入	搬入	搬入	搬入
流山市	なし	搬入	搬入	なし



	搬入市	搬入量(t)	フレコン数(袋)	放射性物質濃度	搬入日数
<b>これまでの累計</b> ※H24年12月21日 ~H25年3月15日 ※濃度は最大値	松戸市	51.97	85	12,500	10
	柏市	151.10	241	40,000	26
	流山市	177.85	243	13,700	32
	3市合計	380.92	569	40,000	

**松戸市**は、2月10日から2月28日まで両炉を停止し定期整備工事实施。その後、1炉を立ち上げ剪定枝等を焼却しない場合にどの程度まで放射性物質濃度が低減するか、3月末までの1か月間の予定で調査。しかし、この間の放射能濃度については公表できないとしています。8千ベクレル以下になれば手賀沼終末処理場への搬出は停止となるため、調査結果の公表を要求し早期の搬出停止を求めています。

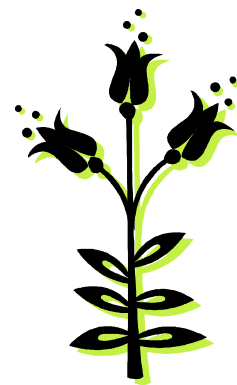
**柏市**は、焼却灰の放射能濃度を低減させるため、草木枝葉の焼却量のコントロールや焼却するごみの種類の調整などの対策を講じていますが、放射能濃度を低減させると焼却灰発生量が増加するといった相容れない事象が伴うとして様々な対策を模索しているとのこと。3月末を目途に搬出を停止したいとの一時期の思いは後退したように思われます。また、最近は大震災直後の剪定枝の焼却を行なっているため、搬入された焼却灰の放射能濃度が最大値4万9,900ベクレルと非常に高くなっています。放射能濃度の低減と早期の搬出停止を要求していきたいと考えています。

**流山市**は、剪定枝を4割も混ぜて焼却しています。しかし、焼却灰の放射能濃度は8千ベクレルを少し超えた値であり、混焼率を下げれば容易に8千ベクレル以下となることが予想されます。剪定枝等を保管するための一時保管場所の予算が可決されたため、剪定枝等の混焼率を下げ焼却灰を8千ベクレル以下にして、手賀沼終末処理場への早期の搬出停止を求めています。

## 焼却灰の放射能濃度を低減し、自区内処理を！



# 平成 25 年度の主な事業



**平成 25 年度一般会計予算 363 億 8000 万円**

※前年度より 14 億 2000 万円増 (4.1%増)

## ➤ 東日本大震災からの復興

### ・小規模住宅地区改良事業 4 億 5530 万 6 千円

液状化被害が集中した布佐東部地区で、国の復興交付金を活用し、被災家屋を除去した土地の一部を活用して市営住宅を建設します。市営住宅は 2 つの住宅を 1 棟とする連続住宅で 5 棟 10 戸を建設し、25 年度中の入居を目指します。

## ➤ 放射能対策

### ・原発事故対策事業 1 億 3740 万円

- ・放射線量測定業務委託料(戸建て・集合住宅 2,300 件) 606 万 7 千円
- ・放射線量低減対策委託料(戸建て・集合住宅 920 件) 7,728 万円

住宅の除染については、これまで妊婦や高校生相当までの子どものいる住宅を優先して行ってきましたが、4 月からは市内すべての住宅を対象に申請を受け付け、測定の結果、対象となった住宅の除染を 8 月末までに完了させる予定。

- ・放射線量低減対策測量業務委託料(私立高校・私立大学) 250 万円
- ・放射線量低減対策工事費(集合住宅・私立高校・私立大学) 3,160 万 4 千円 等

### ・ホールボディカウンタ測定費用助成事業 64 万 3 千円

市民の内部被ばくに対する不安を軽減するため、昨年に続きホールボディカウンタ測定費用 1 回分の一部を助成する。ただし、平成 24 年度に測定し検出されたものについては、再度の検査 1 回分も助成する。※対象者：妊婦と平成 6 年 4 月 2 日以降に生まれたもの

※平成 25 年度から、就学時健康診断と小中学校全学年の健康診断で、甲状腺の視診と触診を医師会の協力を得て実施します。診断時には、健康診断の前に保護者が記入する子どもの健康状態に関する調査票を活用し、必要に応じて医師からの指導を受けられるようにしていきます。



## ➤ その他

### ・人にやさしい駅整備事業(新木駅) 977 万 5 千円

新木駅自由通路及び南北口にエレベーター・エスカレーターを設置するための確認申請や新木駅南口自転車駐車を移設します。

### ・特定不妊治療助成 600 万 8 千円

不妊に悩む夫婦の経済的負担の軽減を図ることを目的に、千葉県特定不妊治療費助成事業実施要綱による助成の決定を受けている者に対し 1 回の治療につき 5 万円を上限に助成します。

